

とみおか

市議会
だより

Vol.97
2025.8.1



撮影協力: 富岡市妙義ビジターセンター

6月29日(日)に野外音楽イベント「富岡駅おんピクニック」が富岡市妙義ビジターセンターで開催されました。開放的な青空の下でダンスやウクレレ演奏など、来場者は芝生広場で音楽を楽しみました。

<主催: 富岡駅おん実行委員会>

主な内容

6月定例会の概要	P2
委員会報告	P3
提出議案とその結果	P4
一般質問	P5~10
討論・訂正とお詫び・意見書を提出	P10
議員表彰・議会報告会のお知らせ・地方議会総会	P11
9月定例会のお知らせ・編集後記	P12



令和7年6月定例会を開催

定例会の 日程と概要



本会議 [開会]

6月2日

議案の提案理由説明

・市長が令和6年度富岡市一般会計予算継続費繰越計算書ほか4件を報告、条例の一部改正案、人事案件などの議案を説明

議案の採決

・教育委員会教育長の任命、教育委員会委員の任命、監査委員の選任に同意

提案

6月
3・4日

本会議 [一般質問]

議員が質問

・9名の議員が市政全般について質問し、市長などが答弁 ⇒詳細は 5～10ページ

質問

分野にわけて、
3つの常任委員会を
常時設置しています。

6月
5・6・9日

常任委員会 [総務・社会・経済建設]

議案の審査

・各常任委員会に付託された議案について、委員会ごとに審査
・委員会としての可否を決定

請願の審査

・所管の委員会で審査・採決

⇒詳細は 3ページ

審査

6月13日

本会議 [閉会]

議案の採決

・各常任委員会の委員長が審査結果を報告
・議案の可否を決定

追加議案の提案理由説明・採決

・社会常任委員長が委第3号議案(意見書案)の説明
・市長が追加議案1件を説明
・意見書を提出した議員が議第2号議案を説明
・追加議案の可否を決定

⇒詳細は 4ページ

採決



◀本会議の様子を
動画でご覧いた
だけます。

議会
メモ

【議案とは】議会の議決を経るために、市長又は議員、委員会が議長に提出する案件のことです。「第〇号議案」は市長、「議第〇号議案」は議員、「委第〇号議案」は委員会が提出したものです。

総務常任委員会

総合計画、財政、地域づくり、危機管理等に関わる委員会です。

□付託*1議案

□結果*全会一致で原案のとおり可決

【議案とその内容】

▼令和7年度富岡市一般会計補正予算（第2号）

【分割付託】歳入

【内容】歳入歳出それぞれ2億9,501万円を追加し、予算の総額を275億8,621万円に改めたいとするものです。歳入15款国庫支出金、総務費国庫補助金の増額は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金です。歳入19款繰入金、財政調整基金繰入金の増額は、歳出との調整を図るものです。



社会常任委員会

市民の生活と福祉、文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。

□付託*2議案、請願第7-1号、請願第7-2号

□結果*いずれも全会一致で原案のとおり可決、請願第7-1号は賛成全員で採択、請願第7-2号は賛成なしで不採択

【主な議案とその内容】

▼富岡市土砂等による埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【内容】群馬県において、危険な盛土等を包括的に規制する「宅地造成及び特定盛土等規制法」の運用が開始されたことに伴い、土砂の搬入計画の届出を義務付けるため、条例の一部を改正したいとするものです。



経済建設常任委員会

産業、観光振興、農林業、建設、上下水道等に関わる委員会です。

□付託*3議案

□結果*いずれも全会一致で原案のとおり可決

【議案とその内容】

▼富岡市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【内容】水道事業の認可変更に伴い、給水人口及び1日最大給水量に変更が生じたことから、条例の一部を改正したいとするものです。

▼市道の路線の廃止について

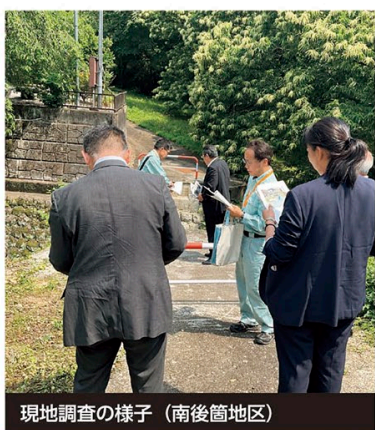
【内容】市道5178号線以下、市道5182号線までの3路線については、隣接する市道5476号線の工事が完了し、開通したことに伴い、廃止したいとするものです。

市道8159号線は、民間の開発に伴い、市道9246号線以下、市道14117号線までの3路線については、橋りょう

を撤去したことにより、道路網の整備を図るため、廃止したいとするものです。

▼市道の路線の認定について

【内容】市道8159号線以下、市道8445号線までの3路線については、民間の開発に伴い、また、市道9246号線は、橋りょうを撤去したことに伴い、道路網の整備を図るため、認定及び再認定したいとするものです。



現地調査の様子（南後箇地区）



現地調査の様子（一ノ宮地区）

提出議案とその結果

令和7年6月定例会(6月2日から6月13日 12日間)

議案番号	件名	結果	佐々木伸	岡野尋美	中村喜雄	小松隆行	入澤めぐみ	北島徹	三ツ木真由美	田村浩壽	高田仁志	木田嘉之	矢野勲仁	佐藤信次	堀越英雄	宮澤展彦	壁田賢二	相川求	茂原正秀	高橋総一郎
報告第1号	令和6年度富岡市一般会計予算継続費繰越計算書について	報告																		
報告第2号	令和6年度富岡市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告																		
報告第3号	令和6年度富岡市水道事業会計継続費繰越計算書について	報告																		
報告第4号	令和6年度富岡市水道事業会計予算繰越計算書について	報告																		
報告第5号	富岡市土地開発公社経営状況の報告について	報告																		
第48号	富岡市土砂等による埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議長のため表決に加わりません	○	○	欠	○	○	○	○
第49号	富岡市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	欠	○	○	○	○
第50号	令和7年度富岡市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	欠	○	○	○	○
第51号	市道の路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	欠	○	○	○	○
第52号	市道の路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	欠	○	○	○	○
請願第7-1号	義務教育費国庫負担制度を拡充し、教職員定数の改善を求める意見書採択の請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	欠	○	○	○	○
請願第7-2号	選択的夫婦別姓制度を導入せず、旧姓の通称使用の法制化を求める意見書採択の請願書	不採択	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×		×	×	欠	×	×	×	×
第53号	富岡市教育委員会教育長の任命について(白石直樹さん)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
第54号	富岡市教育委員会委員の任命について(浅井明美さん)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
第55号	富岡市監査委員の選任について(佐藤信次さん)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		除	○	○	○	○	○	○
委第3号	義務教育費国庫負担制度を拡充し、教職員定数の改善を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長のため表決に加わりません	○	○	欠	○	○	○	○
第56号	富岡市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	欠	○	○	○	○
議第2号	選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	欠	○	○	○	○

【議員表決の表示例】○…賛成 ×…反対、態度保留、継続等 欠…欠席 除…除斥 棄…棄権



【表決とは】議員が議案に対して賛成または反対の意思を表明することです。意見を表明する側は「表決」といいますが、議長からみた場合は表決をとることを「採決」といいます。

一般質問

要旨

市政を問う!

※一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

一般質問とは?

市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。

6月定例会では9人の議員が一般質問を行いました。

全質問項目は下記のとおりです。(マーカーの項目は、本文に内容を掲載しています)

答弁は、市長、副市長、教育長及び部長が行います

P.6 中村 喜雄 議員

No.1

- 1 未成年者のメンタルヘルスについて

P.6 岡野 尋実 議員

No.2

- 1 本市における移住・定住施策の推進について

P.7 田村 浩壽 議員

No.3

- 1 人口減少に対する施策について
- 2 なぜ大型の公共事業が重なるのか
- 3 市内の案内表示について

P.7 高田 仁志 議員

No.4

- 1 持続可能な農業及び商工業振興の課題について

P.8 佐々木 伸 議員

No.5

- 1 投票率向上の取組について
- 2 消防行政について

P.8 三ツ木真由美 議員

No.6

- 1 人口減少・少子化対策について

総務…総務部長

企画…企画財務部長

市民…市民生活部長

世界…世界遺産観光部長

健康…健康福祉部長

経済…経済産業部長

建設…建設水道部長

教育…教育部長

消防…消防団事務担当

P.9 小松 隆行 議員

No.7

- 1 地域経済活性化について
- 2 西毛広域幹線道路開通について

P.9 北島 徹 議員

No.8

- 1 補助金等支出の妥当性及び適正性

P.10 茂原 正秀 議員

No.9

- 1 予算特別委員会における市長の不適切発言について
- 2 ごみの回収について
- 3 閉校となった小学校校舎の利活用について

録画配信もぜひご覧ください!

市議会ホームページでは、一般質問の内容すべてを動画で視聴できます。QRコードを読み取っていただくと、簡単に動画サイトに接続できます。ぜひご覧ください!



議会中継
しています!





中村 喜雄 議員



未成年者のメンタルヘルス

問 未就学児へのメンタルヘルスや心身の健康に関する取組について、内容等をお聞かせください。

健康 額部保育所子育て支援センター「すこやかひろば・ぷらす」での、「こどもの発達相談」「ファミリー・トレーニング」「ペアレント・トレーニング」の3つの取組がございいます。これらの取組によりまして、子どもの心の安定を促し、より良い親子関係の構築を支援しております。

問 教育現場では、メンタルヘルスに関する問題が発覚した場合、どのような対応がとられていますか。

教育 校内の教育相談部会が中心となり、市教育支援センター「相談室」によるカウンセリングやスクールソーシャルワーカー及び各関係機関と連携し、問題の解決に取り組んでおります。また、必要に応じてケース会議を開催し、具体的な支援策を検討しております。ケース会議における検討結果により専門的な支援が必要となる場合には、福祉関係機関や医療機関等と連携を図っております。

問 社会全体で組織的・継続的に未成年者のメンタルヘルスの問題に取り組む施策について、市長の今後の方針をお聞かせください。

市長 未成年者のメンタルヘルスに関する支援につきましては、地域や社会全体で見守り、支えていくべき重要な課題であると認識しております。今後も、全ての子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、社会全体で組織的かつ継続的に支援を行う取組を推進してまいります。

意見 未成年者のメンタルヘルスは、彼らの健全な成長に深く影響を与える重要な課題です。是非とも、その実現に向けて一つ一つ丁寧に取り組んでほしいと願います。



岡野 尋実 議員



本市における移住・定住施策の推進について

問 本市において、移住・定住希望者への情報提供や支援をどのように行っているか。

市長 第3期富岡市移住定住推進アクションプランに基づき、移住定住ポータルサイト等を活用し、積極的に情報発信すると共に、移住体験住宅の活用、県との連携、地域住民との移住交流会の他、移住定住コンシェルジュの配置による支援に取り組んでいる。

問 移住体験住宅の利用状況はどうか。市内の各所に体験住宅を増設する考えはあるか。

総務 平成30年度利用開始以来、令和5年度8件、令和6年度10件が利用し、3件の利用者が移住した。郊外や山間部の体験住宅についても検討したい。

意見 移住人口を増やす上での先行投資として、移住体験住宅の増設を望む。体験住宅と地域とのギャップを生じさせないための必要な施設である。街中、郊外、山間部の体験住宅と併せて、体験セミナー等を開催し、「移住者の人生プランに沿った移住を実現できる富岡市である」との情報発信ができると思う。

問 都市と地方を行き来する2地域住居者、関係人口について、移住につながる可能性はどうか。

総務 本市も、関係人口の中から移住につながった人は多いと認識する。様々な分野の2地域居住者に目を向け、関係人口の増加に取り組んでいく。

意見 担当部局には、地域づくり協議会等に協力をお願いするなど、関係人口の掘り起こしに積極的に取り組んでいただきたい。

問 本市における移住・定住施策を、今後どのように推進するのか。

市長 推進アクションプランの「住む人の心ゆたかな暮らしが移住希望者を惹きつける好循環となること」を実現するため、移住者のみならず地元住民も安心して住み続けたいと思える、暮らしやすい地域づくりを推進する。





田村 浩壽 議員
(日本共産党)



少子化対策は婚活よりも経済的な支援を

問 「富岡市の少子化対策への提言」では、優先すべき対応策として、「若者の出会いと結婚支援の推進」と、「安価で快適な住まいの提供」を挙げています。なぜ優先すべき策なのか。

健康 少子化の主な要因は、婚姻件数の減少であると考えられ、婚姻件数を増やす施策を優先的に展開していくべきという考え「若者の出会いと結婚支援の推進」が優先すべき対応策に掲げられております。また、結婚に繋がったといたしましても、本市に定住していただかなければ少子化対策に結びつかないとされたことから、「安価で快適な住まいの提供」も優先すべき対応策に掲げられております。

問 「婚姻件数を増やす施策」は、結婚しないのはよくないという価値観を市民に強要することになるのではないのでしょうか。

健康 少子化対策に的を絞った提言であると捉えておりますので、そのような価値観を市民の皆様に強要するものではないと考えております。

意見

「未婚者等の結婚観につ

いて、したくないどちらかといえ、したくないと考えている人が4人に1人いる。」との調査があります。お子さんをお持ちでない市民にとって、自治体が、結婚を勧め子供を持つことを推奨するという施策に不快感を持たれる方もおられると思います。結婚するしない、子供を作る作らないということは、個人の問題で、自治体がとやかく言うべきではありません。戦前の軍国主義体制の中で、「産めよ増やせよ国のため」のスローガンのごとく、個人の問題に国が介入してきた痛苦の歴史があります。婚活より経済的支援が目玉になるのではないかと。お子さんは3人くらいほしいと欲している子育での経済的負担を考えると、思うようにはいかない、というのがこの間の調査からうかがえるのではないかと思います。



高田 仁志 議員



持続可能な農業及び商工業振興の課題について

問 若手農業者や新規就農者が継続して営農するための取組及びその成果についてお聞かせください。

経済 「農家の課題解決プロジェクト経営改善実践スクール」を開講しています。そのほか独立後には、就農準備資金・経営開始資金事業を活用して月額12万5千円の補助を行っています。また、新規就農研修者住居支援事業補助金により家賃の2分の1、最長2年間、月額上限2万円の補助も行っています。商工業分野においては、空き店舗の解消や事業継承に関する支援をはじめ、インターネットを活用したECサイトの開設促進など、販路を開拓するための支援を行っています。また、人材を確保するため、市内中小企業に就職した若者に対する奨励金や首都圏の学生が群馬県内の企業に就職した際に、就職活動にかかった経費の一部を支援する制度をスタートしたところです。

意見 持続可能な農業の発展には、若者がIoT技術やドローン、スマート農業といった最新の技術や新たなビジネスモデル

を取り入れることで革新を促しながら、同時に高齢者が長年にわたり培ってきた豊かな経験や地域に根ざした伝統的な知識を次世代に継承することが求められており、こうした相互補完的な取組が地域全体の活性化と環境保全、ひいては持続可能な発展を実現するための重要な要素となっていると考えます。市当局におかれましては、若者の参入促進及び高齢者が安心して継続できる支援体制の整備に向け、積極的な政策や資材の投入にご配慮いただけますようお願い申し上げます。

そのほか、農業に大きな影響を及ぼす気候変動への対応、新規農作物への支援、農作物のブランド化やPRについてなどの質問を行いました。





佐々木 伸 議員



投票率向上の取組について

問 国政選挙をはじめ各地方選挙における投票率の低下が課題となっており、近年行われた選挙も約半数近くの有権者が棄権している状況です。これまで取り組んできた投票率向上のための施策とその成果、今後の投票率向上に向けた取組について聞かせてください。

市長 主権者教育や啓発活動、投票所環境の改善などを総合的に実施することで、投票率の向上へつなげてまいりたいと考えております。

総務 若者の選挙制度への理解と意識啓発を図り、将来を担う子供たちに対し、主権者としての自覚を促す取組を実施してまいりました。

問 啓発活動も大切ですが、投票環境の改善が重要と思われる。投票困難者への対策として、各地区（地域づくりセンター等）の他、人が集まる施設等にも期日前投票所を開設することは可能でしょうか。

総務 期日前投票所の増設には、課題も多く、多額の経費などが挙げられることから、メリット・デメリットや、費用対効果を十

分に検討してまいります。

問 移動期日前投票所の設置について、本市の考えをお聞きます。

総務 臨時期日前投票所としていた小野地区と妙義地区の2か所につきましては、車両を利用した移動期日前投票所として実施してまいりたいと考えております。

意見 高齢化社会になり、移動困難者への対応、投票環境の改善と利便性の向上が、投票率向上につながるのではないのでしょうか。また、政治への無関心や信頼感の低下に対する意識改善も大切です。そして、私たちも選挙で選ばれる議員として、有権者が関心を持ち、投票に行きたくするような政策や姿勢を示し行動していかなければならないと思います。



三ツ木 真由美 議員



若者が「自分が主人公」と思える地域の実現に向けて！

問 富岡市少子化対策庁内検討委員会の提言書の内容はどのようなものか。

健康 若年層のライフスタイルや価値観の多様化を尊重しつつ、優先的対応策「若者の出会いと結婚支援の推進」と「安価で快適な住まいの提供」、中・長期的対応策「妊娠・出産支援の強化」、「市内企業の情報発信と成長が期待できる産業の集積」、「子育てと仕事が両立できる環境づくりの推進」、「子育て支援の強化」、「生活・交通インフラの充実」、「魅力ある教育環境づくりの推進・最適な学びの提供」、「若者をひきつける地域づくりの推進」が掲げられた。

問 少子化対策庁内検討委員会の意義と効果はどのようなものか。

健康 意義は、少子化は様々な要因が複雑に絡み合っており、部局横断的に少子化対策検討体制を構築することである。効果は、十分なデータ分析を実施し、「富岡市の少子化対策への提言」をまとめられたことである。

問 若者を引きつける地域づく

りの推進とはどのようなものか。

健康 若者の意見を聴取し、的確に施策へ反映する仕組みが整備され、若者の一人ひとりが自分が主人公だと思える地域である。

要望 庁内の各課より、富岡市に居てもデジタルクリエイティブ人材育成のような先進的な講座が受けられることや、女性の働きやすい職場環境整備のための補助金活用及び子育てしやすい環境整備として学校関係の役員等の見直し、託児スペース等の整備補助金の活用状況等、また「若者を引きつける地域」の考え方等多方面から質問した。ただ単に若者の意見聴取にとどまらず、若者が主体的に活動できる少子化対策プロジェクトチームを立ち上げ、本市が考える「若者の一人ひとりが自分が主人公だと思える地域」の実現に向け、更に庁内関係部署が一丸となって少子化対策に取り組んでいきたい。



小松 隆行 議員



地域経済活性化について

問 財政状況が厳しい中、注目されるのが地域内での経済循環を高める仕組みである。本市施策の現状を伺う。

経済 「地元消費のための施策」として地域通貨を担う「ふれ愛カード」による支援。「とみおかキッチンフェス」などのイベントを通じ、市内飲食店や商店のPRや販路拡大。「地域資源の確保」として事業承継や人材確保等の取組の他、企業誘致活動や創業支援等。「中小企業振興基本条例に基づいた取組」として金融支援、創業、販路拡大の補助。併せて、人材確保の奨励金や従業員が働きやすい職場環境の整備に関する支援、製造機械等を導入した際の助成金などの支援を行っている。

問 これまで地域活性化と云えば、企業誘致や観光・産業など、外から稼ぐばかりに注力され、「域内に入ったお金がどう使われるか」には、ほとんど着目されてこなかった。どれくらい稼いでいるかではなく、どれほどのお金が域外に出ているかを意識するのが「漏れバケツ理論」です。大切なのはお金を域

内でいかに循環させて経済活動を生むかである。市が発注する各種契約が域内で回っているのか、令和6年度の契約状況を伺う。

企画 総数972件、金額で約74億8,518万円。うち、市内業者契約件数は522件、金額で約55億4,362万円、率にして53.7%、金額では74.1%である。

意見 横浜市では、横浜市中心企業振興基本条例を策定後、平成22年度市内中小企業契約実績（工事・物品・委託合計）件数で78.7%、金額で73.3%、令和5年度市内中小企業契約実績92.0%、金額で80.2%のこと。条例制定後、3年後から90%以上を保持しており、報告書を毎年、常任委員会で確認している。報告書には契約についての取り組みが記載されている。参考にし、理論に基づく活性化を求む。



北島 徹 議員

税金で給与支払い？
補助金の人件費充当に疑問の声

主旨 富岡シルク推進機構に対する年間850万円の市補助金の大半が人件費に充てられており、実質的に団体存続のための固定費となっている実態を指摘。営業赤字が続く中でも賞与を増額している富岡シルク推進機構の経営姿勢と、それを黙認する市の姿勢に疑問を呈した。市民からの信頼確保や補助金制度の適正性を保つため、補助金支出の在り方、審査体制、推進機構の経営改善など、市に対して抜本的な見直しを求めた。以下は質問のやりとりの一部。

問 副市長は「補助金等審査会」の会長として補助金を審査する一方、補助金を受け取る「富岡シルク推進機構」の副理事長も務めている。たとえ審査会で発言を控えていたとしても、「補助金を出す側」と「受け取る側」の双方に関わることは、市民感覚からすれば利益相反の構造であり疑問を招く。また、富岡市長等政治倫理条例第3条には「市民全体の奉仕者として、不正の疑惑を持たれるおそれのある行為をしないこと」とある。市長はこの兼任体制を制度上、倫理

上いかなる問題もないと考えるのか、仕組みを見直す考えはないのか見解を求める。

市長 問題があるとは思っていないので、現段階で見直しの考えはない。

意見 富岡シルク推進機構への補助金をめぐる市の対応について、極めて杜撰な管理体制と説明責任の欠如が明らかになった。特に公金支出の実態把握が十分な上、問題点の指摘に対しても市は反省や改善の姿勢を見せず、矛盾した答弁で「問題なし」と結論付ける無責任な態度に終始している。補助金や負担金が市予算に占める割合が高い中で、その妥当性と透明性の確保は極めて重要であり、議員として、こうした実情を市民に正確に伝える責任があると感じている。





茂原 正秀 議員



予算特別委員会での市長の不適切発言は 議会への不当な介入だ

問 本年3月の予算特別委員会において市長から不適切な発言があり、議会は議員全員の賛成で市長に対し「議会への不当な介入である」という申し入れをしました。市長はその発言について、今でも問題ないとお考えなのでしょうか。

市長 「議会への不当な介入」などに関する申し入れは、真摯に受け止めます。

問 そのご答弁は、「議会への不当な介入をした」という非を認めたということでしょうか。

市長 先ほどの答弁のとおり、「議会への不当な介入」などに関する申し入れは真摯に受け止めます。

問 市長がご自分の非を認めているのか、認めていないのかは議会だけでなく市民にとっても重要なことです。明確に答える必要があります。再度確認いたします。そのご答弁は、「議会への不当な介入をした」という非を認めたということでしょうか。もし先ほどと同じ答弁を繰り返すのなら、なぜ曖昧な答弁を繰り返すのか

理由をご説明ください。

市長 先ほどの答弁のとおり、「議会への不当な介入」などに関する申し入れは真摯に受け止めます。決して曖昧な答弁ではありません。

問 市長のご答弁は曖昧で、市民への説明責任を果たさず、自己保身に走っているように私は思えます。これは重要なことです。再度同じ質問をしますが、先ほどのご答弁は、「議会への不当な介入をした」という非を認めたということでしょうか。

市長 先ほどの答弁のとおりです。

意見 市民の知る権利を軽視する市長の姿勢には失望しました。市長はご自分の非を認めていないと私は理解しました。



請願第7・2号

選択的夫婦別姓制度を導入せず、旧姓の通称使用の法制化を求める意見書採択の請願書

賛成討論

入澤 めぐみ

この制度は、我が国の家族観や社会の基盤、さらに日本の国益に深く関わる重要な問題である。家族制度と社会秩序を守るために、本請願に賛同することは極めて意義深いものと認識している。地方から国へ責任ある声を届けることが、私たち地方議会の役割である。第一に内閣府の調査によると国民の多数が夫婦別姓を望んでいない。第二に選択的夫婦別姓は強制的親子別姓となる。第三に家族の一体感の意義。第四に戸籍制度の意義。我が国の戸籍制度は単なる記録簿ではない。文化的・歴史的に家族や地域社会との絆を確認する象徴的な制度である。以上を持って賛成討論とする。

訂正とお詫び

令和7年6月発行の議会だより96号において誤りがありません。次のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

【訂正箇所】

4ページ 一般会計、歳入円グラフ

誤 自主財源 102億7,531万円、依存財源 134億69万円

正 自主財源 98億9,232万円、依存財源 172億9,368万円

意見書を提出

6月定例会では、「義務教育費国庫負担制度を拡充し、教職員定数の改善を求める意見書の提出について」及び「選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書の提出について」が原案のとおり可決され、内閣総理大臣などに提出されました。

詳しい内容については、富岡市ホームページから議会提出議案をご覧ください。



議員表彰

全国市議会議長会より、永年にわたり地方自治の発展に寄与した功績により2名の議員が表彰されました。



木田嘉之 議員
(10年表彰)



相川求 議員
(15年表彰)

議会報告会のお知らせ

富岡市議会では「市民に開かれた議会」を目指し、議会の活動報告や皆様との意見交換の場として毎年11月に議会報告会を開催しています。お誘いあわせのうえ、お出掛けください。

【日程・会場】

11月11日（火曜日）

七日市黒川地域づくりセンター

11月12日（水曜日）

黒岩地域づくりセンター

11月13日（木曜日）

妙義地域づくりセンター

【時間】

各会場とも午後7時

【テーマ】

未定

【内容】

各委員会からの報告及び意見

交換

これまでの報告会については、左記二次元コードを読み取っていただくと、市ホームページの市議会、議会報告会のページに接続されます。



富岡甘楽地方議会議員連絡協議会定期総会及び研修会

5月30日（金）、JA甘楽富岡ヴァンヴェールにおいて、富岡甘楽地方議会議員連絡協議会第45回定期総会と研修会が開催されました。この協議会は、富岡甘楽郡内4市町村の議員で構成され、関連する各種研修会を開催しています。

今年度は、（株）イーエアロスペース取締役である岡田豊先生をお迎えし、「イーエアロスペースの事業紹介と今後の展望」について、ご講演をいただきました。



研修会の様子



定期総会の様子 矢野会長あいさつ

市議会を傍聴される皆さまへ

傍聴は、開催日当日、議会事務局で受付しています。

【本会議・各常任委員会・議会運営委員会・予算決算の特別委員会】

- ▶ 傍聴する際は携帯電話等をマナーモードに設定をお願いします。
 - ▶ 本会議の様子はインターネットで生中継しておりますので、ご自宅でご覧いただけます。
 - ▶ 聴覚障害を抱える方に対して、本会議での手話通訳の利用ができます。
- 傍聴希望日の5日前までに、議会事務局へ申し込みをしてください。



- ◆ 開会予定時間：午前10時 ◆ 議会棟1階ロビーでも中継がご覧いただけます。
- ◆ 各委員会も傍聴することができます。 TEL:0274-62-1511 内線:2205

6月定例会の傍聴者は計270人

日 程	会 議 名	人数	ネット 中継
6/2	本会議	1人	31人
6/3	本会議(一般質問)	5人	66人
6/4	本会議(一般質問)	4人	143人
6/5	総務常任委員会	2人	
6/6	社会常任委員会	2人	
6/9	経済建設常任委員会	0人	
6/13	本会議	1人	15人

9月定例会のお知らせ(予定)

日	月	火	水	木	金	土
8/31	1	2 本会議 開会	3 本会議 一般質問	4 本会議 一般質問	5 総務 委員会	6
7	8 社会 委員会	9 経済建設 委員会	10 決算特別 委員会	11 決算特別 委員会	12 決算特別 委員会	13
14	15 敬老の日	16	17	18	19 本会議 採決	20
21	22	23 秋分の日	24	25	26	27
28	29	30				



■ 議会の生中継・録画配信

https://smart.discussvision.net/smart/tenant/tomioka/WebView/rd/council_1.html



■ 会議録の検索

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/tomioka/pg/index.html>

市ホームページの市議会のページからご覧いただけます。



広報編集委員会
委員長 木田 嘉之
委員 小松 隆行
委員 北島 徹志
委員 高田 正秀
委員 茂原



(小松)

TVで話題の蔦屋重三郎は才能に目を付けた場合は投資を惜しまず、喜多川歌麿や十返舎一九など育てたそう。また、重三郎は低姿勢で恩と縁を巧みに活用して経営を行い、「秀れた気性をもち、度量が大きく細かいことにこだわらず、人に対しては信義を尊重する。」と言われる。歌麿や写楽の才能を発掘し、南畝(なんぼ)や京伝の傑作を生む下地を作るなど、文学や絵画に対する理解力は人並み以上に優れていたそう。そんな蔦屋重三郎を尊敬し、見習ってしっかりと広報編集に務めさせていただきます。

編集後記